

2001年福井県大野市で確認されたヒメヒミズ

三原 学¹

ヒメヒミズ *Dymecodon pilirostris* は、本州、四国、九州の比較的標高の高い地域の草地、低木林、高木林などに住み、主に昆虫類、ミミズ類などを捕食する非常に小型のモグラ類である (阿部 1994)。福井県での記録はこれまで無かったが、2001年7月に福井県大野市において死体が拾得されたのでここに報告する。

2001年7月27日、福井県大野市巢原平家平 (35° 46' N, 136° 29' E) の作業道上、標高約1000m のところで、ヒミズ *Urotrichus talpoides* によく似た小哺乳類が死亡していた。死体はすでに腐敗が進み、

肋骨が露出していたため、死亡してからやや日が経っていると思われた。黒褐色の体毛とブラシのような毛が生えた混棒状の尾を持つ点ではヒミズと酷似していたが、尾率が61.5% (頭胴長65mm, 尾長40mm) と大きく、また、切歯が扁平であったことからヒメヒミズと同定された (阿部 1994, 林・子安2000a) (写真1)。

隣県の石川県では白山地域で多数の確認があり、ヒメヒミズの生息環境としては低地である400m ~ 500mにおいても記録されている (林・子安 2000b) ため、白山南麓を有している本県でも、今後さらに発見される可能性が高いと思われる。



写真1. 大野市平家平で確認されたヒメヒミズ。

1. 〒912-0084 福井県大野市天神町7-17, E-mail mihara@mitene.or.jp

謝 辞

福井県保護センター職員の西垣正男氏にはヒメヒミズの同定にあたって助言いただいた。ここに記して感謝する。

引用文献

阿部永 (監). 1994 . 日本の哺乳類. 195pp. 東海

大学出版, 東京.

林哲・子安和弘. 2000a. 白山のヒミズ - 落葉層に生きる哺乳類. 石川県白山自然保護センター普及誌はくさん : 11 - 13.

林哲・子安和弘. 2000b. 石川県におけるヒミズ類の分布. 石川県自然保護センター研究報告 第27集 : 29 - 36.

Record of lesser Japanese shrew-mole, *Dymecodon pilirostris*, in the Heikedaira area of Ono city, Fukui prefecture

Manabu MIHARA¹

The body of a lesser Japanese shrew-mole, *Dymecodon pilirostris*, was found on a road in the Heikedaira area (35 ° 46 N, 136 ° 29 E) of Ono city, Fukui prefecture, on 27 July 2001.

1. Tenjincho 7-17, Ono-shi, Fukui 912-0084, Japan. E-mail: mihara@mitene.or.jp